

入札年月日 令和 年 月 日

入 札 閱 覧 設 計 書

主管課長		課長補佐		主 査		合議	   
工 事 名	町道門前茶畑線維持工事					工事場所	西伯郡大山町押平
工 期	150日以内 令和8年1月30日限		監督員	主任技師	柴田 直人	主任監督員	課長補佐 坂田 秀樹
						設計者	主任技師 柴田 直人
入札について	1 大山町建設工事執行規則による。 2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはない。						
契約について	1 大山町財務規則及び大山町建設工事執行規則による。						
質疑について	1 疑義がある場合は、設計者へ文書をもって提出すること。						

令和7年度

工 事 設 計 書

工 事 名：町道門前茶畑維持工事

工 事 場 所：西伯郡大山町押平

位置図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平26 中規、第 47 号）」

店島市南区字品海岸2-3-6 ☎(082)256-755 井乙板印刷社

契 約 図 書

現場説明書

1

令和6年10月10日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】（該当しない場合は削除） —本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 【治山工事、林道工事】（該当しない場合は削除） 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。 【港湾工事、漁港工事】（該当しない場合は削除） —本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立本の置き場所） 工事用地内の立本は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosouseitudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm）により適切に対応すること。 ①（他工事等流用） 建設発生土は大山町所子地内の町有地に運搬（片道運搬距離1.16km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ②（民間残土受入地） 建設発生土は <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り <u> </u>円 アスファルト塊 1m³当り <u> </u>円 建設発生木材 1m³当り <u> </u>円 ②（他工事等流用） 〔Co雑割材・ <u> </u>〕は、 <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内 <u> </u>工事で使用するものとする。

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)―― ――工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：――に使用する。―― ――なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書―― ――(https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm)により適切に対応すること。―― ② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、――工事から運搬し、使用箇所：――に使用する。―― イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、――工事から運搬し、使用箇所：――に使用する。―― ウ 再生クラッシュラン〔規格：RC-30, 40 〕は、使用箇所：下層路盤，基礎碎石に使用する。―― エ 再生コンクリート砂〔規格：――〕は、使用箇所：――に使用する。―― オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度アスコン13〕は、使用箇所：表層に使用する。―― カ その他再生資材〔資材名：――〕〔規格：――〕は、使用箇所：――に使用する。―― キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① (農地の一時転用について)―― ――本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。―― ――【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】―― ――受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。―― ② (農地の賃貸借)―― ――ア ――の用途に使用するため、――市・町・村――番地を賃貸借すること。―― ――イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。―― ――ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。―― ――エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。―― ――オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。――
その他	① (自社施工)―― ――本工事においては、(※)――工(――工を除く)のうち少なくとも――千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。―― ――※該当する細別(レベル4)を記載する。―― ② (工事名称) ――工事標示板に記載する名称は、町道門前茶畑線維持工事とする。―― ――なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。――

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事

イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）

ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）

オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、_____(対象工事の区分を記載)_____]工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。

ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他の

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア ~~建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。~~
~~通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕~~
 イ ~~ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。~~
 本工事の 王で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 t 吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 王で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)

【~~治山工事、林道工事以外~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

【~~治山工事、林道工事~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア [張芝工・筋芝工] は、日本芝の [野芝・高麗芝] を使用すること。

イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り 〇〇円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型]) 【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

その他

工事書類の簡素化について

令和6年4月1日以降発注工事より

単町工事について

○提出書類

	項 目	内 容	備 考
1.	施工計画書	簡易型	
2.	使用材料一覧表		
3.	工事週報		
4.	工事写真	着工前、完成、施工状況(適宜、不可視部分など)	
5.	工事完成図		
6.	出来形数量総括表	設計数量と赤黒対比	

以上の成果品を提出する。

○提示書類

	項 目	内 容	備 考
1.	安全日誌	KYも含む	
2.	産業廃棄物管理表	マニフェスト	

以上の成果品を検査時に提示する。また、監督員から請求があった場合適宜提示する。

注) 工事内容によっては以上の内容に寄りがたい場合があるので、詳細については監督員と協議し決定する。

Q&A)

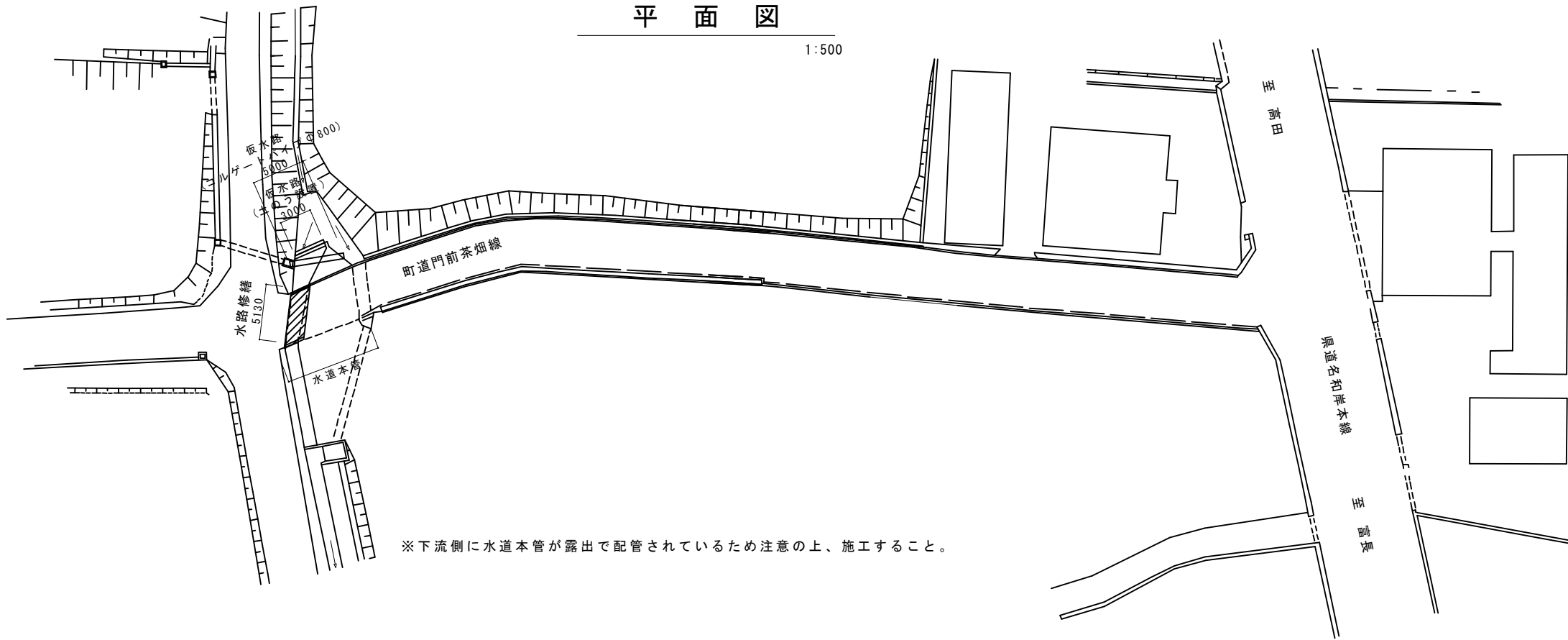
- ・ 工事打合せ簿の提出は求めない。(金額変更が伴うものは除く)
- ・ 施工計画書の簡易型とは土木工事共通仕様書の当初請負金額が1,500万円未満うち維持的工事の内容による。
- ・ 工事材料使用承諾についてJIS規格製品については使用材料一覧表のみ提出する。事前承諾を受けている非JIS製品は事前承諾番号を使用材料一覧表に記載することで添付図を省略できる。
- ・ 舗装工のコア採取については、鳥取県土木工事施工管理ハンドブックを基本とするが、別途監督員と協議すること。
- ・ 一般土木工事を対象としており、水道工事、建築工事などは除く。

工 事 数 量 総 括 表									
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

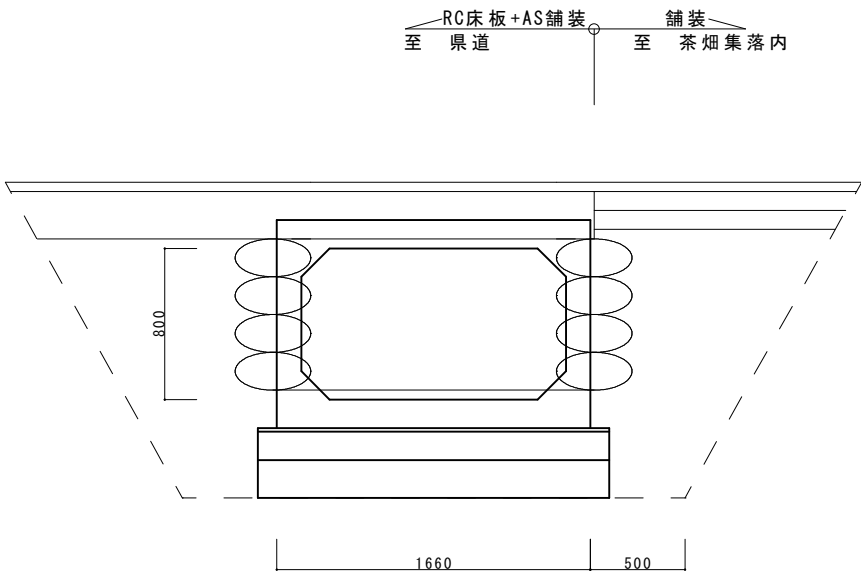
工 事 数 量 総 括 表									
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]



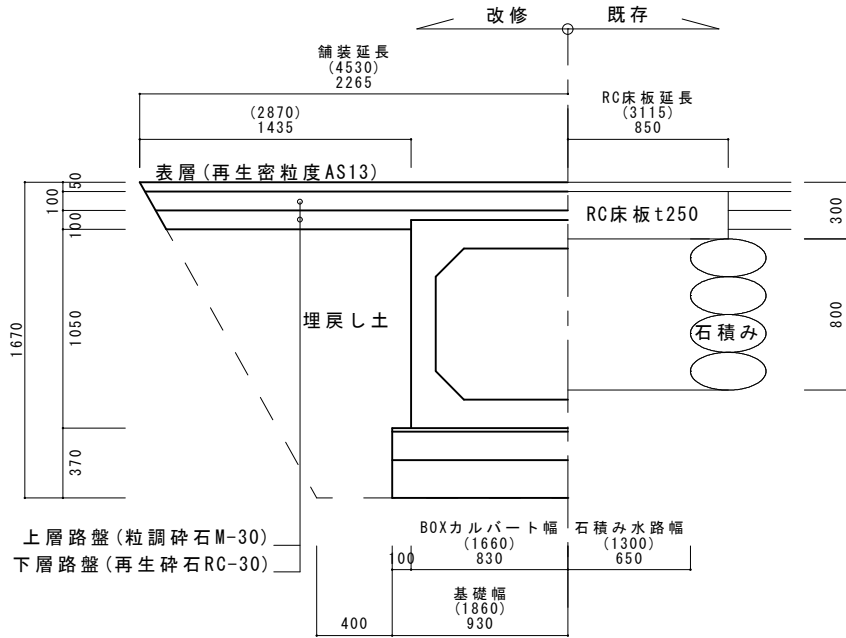
標準断面図

1:40



既存改修断面図

1:40



※()内の数値は全体の数値を示す。

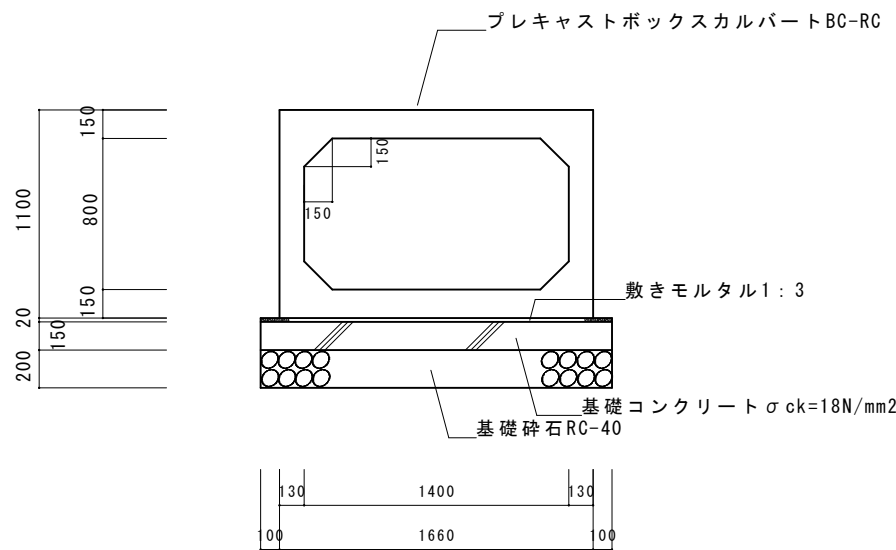
数量表

種別	細別	規格	単位	数量
構造物取壊し工	石積取壊し(空練り)		m ³	3.3
	舗装版切断	コンクリート t 300	m	5.1
		アスファルト t 50	m	5.1
		アスファルト t 50	m	5.1
	舗装版破碎	コンクリート t 300	m ²	16.0
		アスファルト t 50	m ²	7.2
	殻運搬	石殻	m ³	3.3
		コンクリート	m ³	4.0
		アスファルト殻	m ³	1.2
	処分	コンクリート殻	t	9.4
		アスファルト殻	t	10.7
舗装打換え工	表層	再生密粒度 アスコン t 50	m ²	23.2
	上層路盤	粒調碎石 M-30 t 100	m ²	23.2
	下層路盤	再生碎石 RC-30 t 100	m ²	23.2
作業土工	床掘		m ³	15.4
	埋戻し		m ³	12.7
	土砂運搬		m ³	1.3

路 線 名		町道門前茶畑線		
町道門前茶畑線維持工事				
図 名		平面図・標準断面図・既存改修断面図		
位 置		西伯郡大山町押平		
縮 尺		図 示	単 位	mm
図 号		全 2 葉中の内 1		
令和 7 年度施工 大 山 町				

構 造 図

1:40

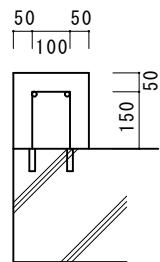


材料表 (1式当たり)

種別	細別	規格	単位	数量
プレキャストカルバート工	ボックスカルバート	標準1400×800×2000(定着無)	本	1
	ボックスカルバート	斜切凸目地1400×800×1621/600(定着有)	本	1
	ボックスカルバート	斜切凹目地1400×800×600/1621(定着有)	本	1
	ボックスカルバート	短尺1400×800×910(定着無)	本	1
	縦締め	PCより線鋼φ12.7 L=5.73×4	kg	17.74
	グリップアンカー	シングルスランド後付用φ12.7	組	8
	差筋加工	D13	箇所	16
	地覆コンクリート	コンクリート t 200	m ³	0.16
	地覆型枠		m ²	2.6
	敷きモルタル	1:3	m ³	0.183
	基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.524
	基礎型枠		m ²	1.539
	基礎碎石	RC-40	m ²	9.490

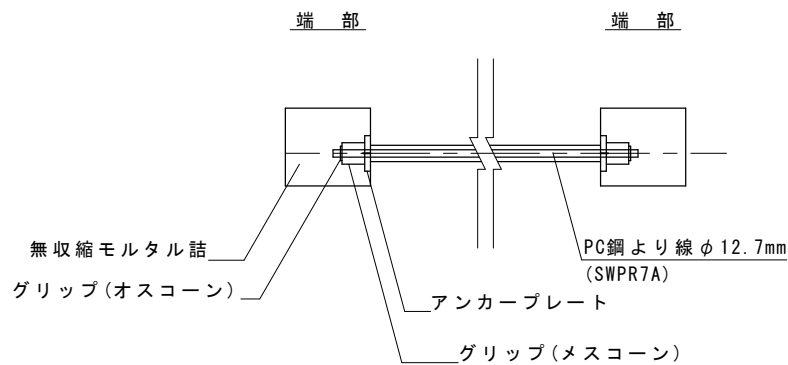
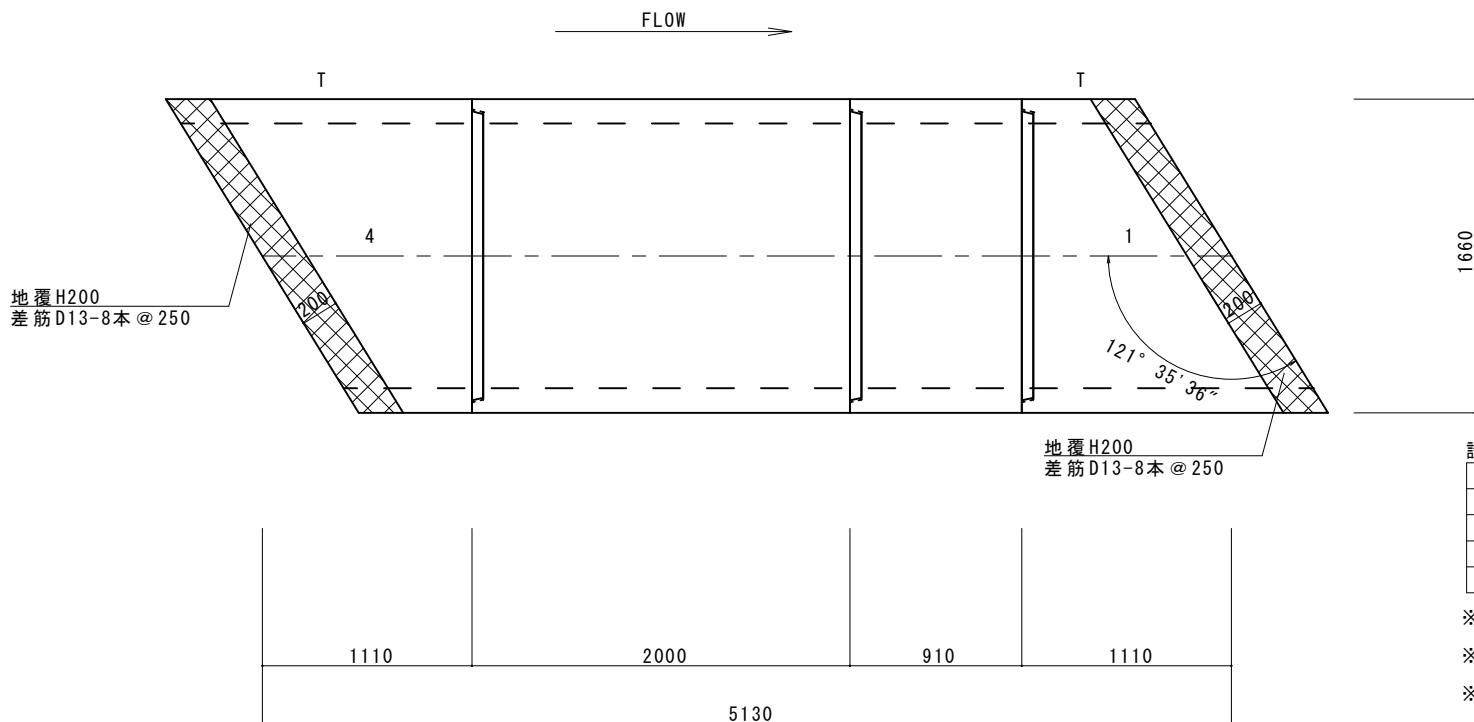
地覆部詳細図

1:20



縦締め詳細図

1:10



設計条件

適用土被り	0.20～3.00 m
設計荷重	T-25(100kN)
コンクリート設計基準強度	40 N/mm ²
コンクリート許容圧縮応力度	14 N/mm ²
鉄筋許容引張応力度	160 N/mm ²

※製品の延びは考慮しない。

※指示地盤について必要地耐力を有しているか調査し、必要な処置を施すこと。

※縦締めはPC鋼より線φ12.7mmを使用し、100KN/本で緊張を行う。

※Tは定着用ブロックを示す。

路 線 名		町道門前茶畑線		
町道門前茶畑線維持工事				
図 名	構造図・地覆詳細図・縦締め詳細図			
位 置	西伯郡大山町押平			
縮 尺	図 示	単 位	mm	
図 号	全 2 葉中の内 2			
令和 7 年度施工		大 山 町		

積 算 参 考 資 料
(契約図書ではありません)

総括情報表

	金 額		金 額
事 業 費			
工 事 費			

	工事価格	消費税相当額	請負工事費
本工事費			
費目合計			

大 山 町

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
道路維持										Y1G02	(レベル1)
		1		一式							
										明第0001	表
直接工事費											
技術管理費											
		1		一式							
諸経費	共通仮設費、現場管理費、一般管理費										
		70		%							
工事価格											
消費税相当額											
		10		%							
工事費計											

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工					Y1G0204 (Ⅱ)2)
		一式			
舗装打換え工					Y1G020402 (Ⅱ)3)
		一式			
下層路盤					Y1G02040207 (Ⅱ)4)
		m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK24040232 00 A=100,B=3,D=1
	23	m2			単第0 -0001 表
上層路盤					Y1G02040208 (Ⅱ)4)
		m2			
上層路盤(車道・路肩部) M-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK24040234 00 A=6,E=100,H=1
	23	m2			単第0 -0002 表
表層					Y1G02040211 (Ⅱ)4)
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK24040241 00 A=4,B=50,C=7,E=1,G=1,H=1,I=1
	23	m2			単第0 -0003 表
カルバート工					Y1G0215 (Ⅱ)2)
		一式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工					Y1G021501 (レベル3)
		一式			
床掘り					Y1G02150102 (レベル4)
		m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00 A=1,B=5,E=1
	20	m3			単第0 -0004 表
埋戻し					Y1G02150103 (レベル4)
		m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040020 00 A=5,B=1,D=1
	20	m3			単第0 -0005 表
土砂等運搬					Y1G02150111 (レベル4)
		m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超) 所子残土置き場					SPK24040002 00 A=2,B=5,C=1,D=1,F=9
	10	m3			単第0 -0006 表
プレキャストカルバート工					Y1G021505 (レベル3)
		一式			
プレキャストボックス					Y1G02150501 (レベル4)
		m			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストボックスカルバート					V0003 00
	1	一式			単第0 -0007 表
地覆型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK24040155 00 A=1,B=1,C=1
	3	m2			単第0 -0009 表
地覆コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設					SPK24040153 00 A=1,B=3,C=1,F=2,H=2,J=2,K=1
	1	m3			単第0 -0010 表
構造物撤去工					Y1G0228 (1^ 12)
		一式			
構造物取壊し工					Y1G022806 (1^ 13)
		一式			
石積み(空練り)					Y1G02280601 (1^ 14)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00 A=1,B=1,C=2,D=1
	3	m3			単第0 -0011 表
舗装版切断					Y1G02280602 (1^ 14)
		m			
舗装版切断 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 全体厚30cmを超え40cm以下					SPK24040306 00 A=3,C=2,D=3,E=1
	5	m			単第0 -0012 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	5	m			SPK24040306 00 A=1,B=1,E=1 単第0 -0013 表
舗装版破碎		m2			Y1G02280603 (レ`ル4)
舗装版破碎 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以上35cm以下	16	m2			SPK24040305 00 A=3,B=1,C=1,D=8,E=1,F=1,G=1 単第0 -0014 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	7	m2			SPK24040305 00 A=1,B=1,C=2,D=1,F=1,G=1 単第0 -0015 表
殻運搬		m2			Y1G02280604 (レ`ル4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下 所子残土置き場	3	m3			SPK24040151 00 A=1,B=1,C=1,D=7,E=1 単第0 -0016 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	4	m3			SPK24040151 00 A=1,B=1,C=1,D=44,E=1 単第0 -0017 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離10.0km以下(7.5km超)	1	m3			SPK24040151 00 A=3,B=2,C=1,D=41,E=1 単第0 -0018 表
殻処分		m2			Y1G02280605 (レ`ル4)

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料						#0041 C=投棄料
			一式			
処分費 コンクリート(無筋) (株)大協組 県単価		9	t			F10000 00
処分費 アスファルト (株)大協組 県単価		11	t			F20000 00
仮設工						Y1G0230 (レベル2)
			一式			
仮水路工						Y1G023008 (レベル3)
			一式			
コルゲートパイプ						Y1G02300802 (レベル4)
			m			
コルゲートパイプ 据付・撤去 期間1ヶ月未満(損料率0.30) フランジ型 円形1形,呼び径800mm,板厚1.6mm		5	m			SPK24040102 00 A=3,B=1,C=1,D=1,F=2,G=1 単第0 -0019 表
						Y1G02300806 (レベル4)
土のう			袋			
土のう拵え,積立,撤去工 小口並べ		2	m2			S1012 00 A=1,B=1,C=5 単第0 -0020 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** 単位当たり ***					
		1	式			

施 工 単 価 表

頁0-0007

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第0 -0001 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比： 4.67%

労務構成比：

15.69%

材料構成比：

79.64%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第0 -0001 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比： 4.67%

労務構成比： 15.69%

材料構成比： 79.64%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生クラッシャーラン RC-30	78.02%		クラッシャーラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		

施 工 単 価 表

頁0-0009

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0002 表

M-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比： 9.88% 労務構成比： 33.13% 材料構成比： 56.99% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

頁0-0010

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0002 表

M-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比： 9.88%

労務構成比： 33.13%

材料構成比： 56.99%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
粒度調整碎石 M-30	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0021 TTPT00357
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 H=1 M-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		

施 工 単 価 表

頁0-0011

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比： 1.43%

労務構成比： 9.93%

材料構成比： 88.64%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0012

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生密粒度アスコン (13)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		

床掘り
土砂 上記以外(小規模)

SPK24040015

施工単価表

単第0 -0004 表

頁0-0013

機械構成比： 19.87% 労務構成比： 72.99% 材料構成比： 7.14% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

頁0-0014

埋戻し
土砂

SPK24040020

単第0 -0005 表

1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンバ及びランマ 質量60～80kg	0.58%		タンバ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 上記以外(小規模) D=1 -(全ての費用)			B=1 土砂		

施 工 単 価 表

頁0-0015

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0006 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)

所子残土置き場

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=9 距離1.5km以下(1.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施 工 単 価 表

プレキャストボックスカルバート

V0003

単第0 -0007 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボックスカルバート 据付 $1.25 < B \leq 2.5$ 、 $0 < H \leq 1.25$ ボックスカルバート(各種)	5	m			SPK24040091 単第0-0008 表
ボックスカルバート 1400×800×2000	1	本			F0000000001 見積り
ボックスカルバート(斜切) 1400×800×1621/600 T凸カット	1	本			F0000000002 見積り
ボックスカルバート(斜切) 1400×800×1621/600 T凹カット	1	本			F0000000003 見積り
ボックスカルバート(短尺) 1400×800×910	1	本			F0000000004 見積り
PC鋼より線 12.7mm L5.73m×4本	17.74	kg			F30000 見積り
グリップアンカー 12.7mm用 シングルストランド後付用	8	組			F40000 見積り
差筋加工 D13	16	ヶ所			F50000 見積り
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

頁0-0017

ボックスカルバート

SPK24040091

単第0 -0008 表

据付 1.25<B≤2.5_0<H≤1.25

ボックスカルバート(各種)

1

m 当り

機械構成比: 3.23%

労務構成比:

18.42%

材料構成比:

78.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	1.33%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
長期割引適用外					
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.91%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	1.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
材料別途	78.35%		ボックスカルバート RC B1500×H1000×L2000 T-25 土被り0.5～3.0m		F0000000007 TTPT00159
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 1.25<B≤2.5_0<H≤1.25 E=7 【F】 RCボックスカルバート(個) G=2 PC鋼材による縦締め有り			B=3 製品長2.0m/個 D=45 ボックスカルバート(各種) F=1 基礎碎石+均しコンクリート H=1 -(全ての費用)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

地覆コンクリート

SPK24040153

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 29.40% 材料構成比： 70.60% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C55%以下	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

SDT00031

施 工 単 価 表

単第0 -0011 表

頁0-0020

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001561
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=2 低騒音・低振動対策			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

頁0-0021

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0012 表

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

全体厚30cmを超え40cm以下

1

m 当り

機械構成比： 8.25% 労務構成比： 27.37%

材料構成比： 64.38%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深40cm級ブレード径φ96cm	5.61%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深40cm級ブレード径φ96cm		MTPC00058 MTPT00058
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	9.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	4.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタ(ブレード) 径38インチ(950mm)	25.02%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径95cm(38インチ)		TTPC00017 TTPT00017
コンクリートカッタ(ブレード) 径30インチ(750mm)	17.48%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ(550mm)	12.01%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015

施 工 単 価 表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0012 表

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

全体厚30cmを超え40cm以下

1

m 当り

機械構成比： 8.25%

労務構成比： 27.37%

材料構成比： 64.38%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ(ブレード) 径14インチ(350mm)	7.34%		コンクリートカッタブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 D=3 全体厚30cmを超え40cm以下			C=2 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下 E=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK24040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0013 表

1

m 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK24040306

単第0 -0013 表

機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施 工 単 価 表

頁0-0025

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0014 表

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以上35cm以下

1

m2 当り

機械構成比： 19.19% 労務構成比：

74.91%

材料構成比： 5.90%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	12.13%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
<賃>油圧ブレーカ 0.4m3対応,アタッチメントのみ	6.51%		大型ブレーカ(油圧ブレーカ) バケット容量0.4m3級 アタッチメントのみ		KTPC00069 KTPT00069
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	29.38%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0014 表

コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以上35cm以下

1

m2 当り

機械構成比： 19.19% 労務構成比： 74.91% 材料構成比： 5.90% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 G=1 コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版 騒音振動対策不要 アスファルト舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)			B=1 D=8 F=1 障害等無し 舗装版厚15cm以上35cm以下 積込作業有り		

施 工 単 価 表

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK24040305

障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0015 表

1

m2 当り

機械構成比： 31.76% 労務構成比： 62.64% 材料構成比： 5.60% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破碎力550～980kN	21.93%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm 破碎力550～980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.83%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
特殊運転手	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0016 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離1.6km以下

所子残土置き場

1

m3 当り

機械構成比： 41.69% 労務構成比：

43.88% 材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=7 運搬距離1.6km以下		

施工単価表

頁0-0029

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0017 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69% 労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：44.95%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離10.0km以下(7.5km超)
労務構成比：38.97%

単第0 -0018 表
市場単価構成比：0.00%

標準単価：1
m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=41 運搬距離10.0km以下(7.5km超)		

施 工 単 価 表

頁0-0031

コルゲートパイプ

SPK24040102

単第0 -0019 表

据付・撤去 期間1ヶ月未満(損料率0.30)

フランジ型 円形1形,呼び径800mm,板厚1.6mm

1

m 当り

機械構成比: 2.91% 労務構成比: 24.77%

材料構成比: 72.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) クレーン付 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	2.90%		バックハウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	8.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コルゲートパイプ(円形1形) 呼び径800mm 板厚1.6mm	70.68%		コルゲートパイプ 円形1形 1,000mm 板厚2.7mm		TTPCD0286 TTPT00382
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

コルゲートパイプ

SPK24040102

単第0 -0019 表

据付・撤去 期間1ヶ月未満(損料率0.30)

フランジ型 円形1形,呼び径800mm,板厚1.6mm

1

m 当り

機械構成比: 2.91% 労務構成比: 24.77% 材料構成比: 72.32% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=3 据付・撤去 C=1 パイプ径800mm以上1,200mm以下 F=2 期間1ヶ月未満(損料率0.30)			B=1 フランジ型 D=1 円形1形,呼び径800mm,板厚1.6mm G=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

土のう拵え,積立,撤去工
小口並べ

S1012

単第0 -0020 表

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂	3.400	m 3			F0000000005
土のう 4 8 × 6 2 c m	170.000	枚			T0802 化学繊維袋
普通作業員	7.140	人			RTPC00002
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 小口並べ C=5 【F】土砂(m3)			B=1 土のう拵え,積立,撤去		
小口並べ 1 7 袋/m ² 普通作業員 = 0.042 * 17 * 10 = 7.140 (人) 土砂 = 17 * 0.02 (m3/袋) * 10 = 3.400 (m3)					

設 計 数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
舗 装 工						
	舗装打換え工					
		表層	再生密粒度アスコン t=50	m2	23.2	
		上層路盤	粒調碎石M-30 t=100	m2	23.2	
		下層路盤	再生碎石RC-30 t=100	m2	23.2	
排 水 構 造 物 工						
	作業土工	床掘	土砂	m3	15.4	
		埋戻	発生土 土砂	m3	12.7	
		土砂運搬		m3	1.3	
	プレキャスト カルバート工	プレキャスト ボックスカルバート		式	1.0	
			1400×800×2000	本	1.0	
			斜切 凸目地 1400×800×1621/600	本	1.0	
			斜切 凹目地 1400×800×1621/600	本	1.0	
			短尺 1400×800×910	本	1.0	
			縦締めPC線より鋼Φ12.7mm	kg	17.74	
			グリップアンカー	組	8.0	
			差筋加工 D13	ヶ所	16.0	
		地覆型枠	一般型枠	m2	2.6	
		地覆コンクリート	24-12-25(20)BB	m3	0.21	

設 計 数 量 総 括 表									
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

鋪 装 工 数 量 集 計 表

[illegible]

排水構造物工集計表

種 別	細 別	規 格	単位	算 式	数 量	備 考
作 業 土 工						
	床掘	土砂	m3		15.4	
	埋戻	発生土 土砂	m3		12.7	
	土砂運搬		m3		1.3	
プ レ キ ャ ス ト カ ル バ ー ト エ						
	プレキャスト ボックス	1400×800×2000	本		1.0	
	プレキャスト ボックス	斜切凸目地 1400×800×1621/600	本		1.0	
	プレキャスト ボックス	斜切凹目地 1400×800×600/1621	本		1.0	
	プレキャスト ボックス	短尺 1400×800×910	本		1.0	
	縦締め	PC線より鋼Φ12.7	式		1.0	
	差筋加工	D13	ヶ所		16.0	
	地覆型枠	一般型枠	m2		2.6	
	地覆コンクリート	24-12-25(20)BB	m3	0.16+0.05(ロス率)	0.21	

作 業 土 工 流 用 調 書									
細 別	規 格	本 線 土 工	作 業 土 工					合 計	備 考
			水路工						
床掘	土砂		15.4					15.4	
埋戻し	発生土		12.7					12.7	
発生土 土砂 V = 床掘 + 15.4 = 15.4									
必要土 V = 路体盛土 埋戻し 0.0 12.7 = 12.7									
作業残土 土砂 V = 15.4 - (12.7 × 1/0.9) = 1.3									

構 造 物 撤 去 工 数 量 集 計 表

種 別	細 別	規 格	単位	算 式	数 量	備 考
構造物取壊し工						
	コンクリート構造物取壊し	石積み(空練り)	m3	$(5.13 \times 0.8 \times 0.4) \times 2$	3.3	
	舗装版切断	コンクリート+アスファルト舗装 t=350	m		5.1	
		アスファルト舗装 t=50	m		5.1	
	舗装版破碎	コンクリート+アスファルト舗装 t=350	m2	5.13×3.115	16.0	
		アスファルト舗装 t=50	m2	5.13×1.415	7.2	
	殻運搬	石殻	m3	$(5.13 \times 0.8 \times 0.4) \times 2$	3.3	
		コンクリート殻 無筋構造物	m3	$5.13 \times 3.115 \times 0.25$	4.0	
		アスファルト殻	m3	$5.13 \times 4.53 \times 0.05$	1.2	
	処分	コンクリート殻 無筋構造物	t	4×2.35	9.4	
		アスファルト殻	t	7.2×1.48	10.7	

仮 設 工 数 量 集 計 表									
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]